



緑風の子

梁瀬小学校だより

令和5年7月19日

校訓「明るく 強く 健やかに」 学校教育目標「いのち輝く梁瀬っ子の育成」

1学期が終了、充実した夏休みを送ろう

無事に1学期が終わろうとしています。明日は終業式です。1学期は、連休明けにコロナが5類に移行され、マスクも本人の意思にゆだねられました。しかし、換気や手洗い等は続けました。5月にはインフルエンザが流行し、心配もしました。修学旅行や自然学校も実施でき、参観日も通常の形で行いました。少しずつ日常が戻ってきています。ふるさと教育も、農園体験等、しっかりと体験できました。PTA学年行事も4年ぶりに全学年で実施できました。保護者の方や地域の方に支えられ、1学期、学習や体験ができたことは、本当に良かったと思います。心からお礼申し上げます。2学期も引き続き、よろしくお願いします。



いよいよ42日間の夏休みが始まる

○今年も夏休みは、例年通りの夏休みとなります。42日間という日をどう過ごすかは、とても大切になってきます。もちろん夏休みといえば、宿題があります。一度にしようとするとうそく多い量だと思います。きちんと計画的にしていけることが大切です。まず夏休みにすることは、学習計画を立てて、決めた時間は、学習をすることが大切です。宿題以外に自分がやろうと思うことを決めて継続して学習できれば、いいですね。宿題を後回しにして、最後に困らないようにして下さい。継続して、一定時間学習する習慣を夏休みも大切にして下さい。2学期がスムーズにスタートできます。

○もう一つ夏休みに気をつけたいのは、生活習慣です。夏休みは気が緩みます。生活リズムが崩れてしまうと、学校が始まった際に朝起きられない、夜更かしの習慣が抜けないといったトラブルにつながります。学校生活があるときと同じリズムで過ごすことが大切です。リズムを大切にね。

○また、交通事故やけがや病気、水の事故等には十分気をつけて下さい。そして、健康な夏休みを過ごして下さい。コロナ禍が終息したわけではありません。コロナ対策も意識し、同時に熱中症にも気をつけてください。自分の身を守る行為は、自分で強く意識しないとできません。十分に注意し、有意義な夏休みを送り、2学期の初めの9月1日に元気に登校してくれることを心から願っています。

○1学期の学習において、本年度も全学年で力を入れているのは、3年前から引き続き、「書く力」をつけることです。「書く」ことを授業の中に取り入れ、しっかり考え、書く場面を設けています。「書く力」を高めるためには、語彙力や思考力もつけなければ、向上しません。総合的な力が「書く」につながると考えています。また、授業の最初に「めあて」（本時の目標）を明確にし、授業の「見通し」を持てるようにし、最後に「振り返り」を行う授業スタイルも統一しています。



○また、一人一台のタブレット端末の活用も行い、全学年で使用しています。もちろん学年の発達段階に応じた活用となります。低学年でも活用できるように4月から取り入れています。まよめの学習で多く活用しています。調べ学習やデジタル教科書（今は外国語と算数）の活用にも役立てています。



○「姿勢」についても気をつけ、コロナ禍で低下した体力強化を図るため、体幹タイムや体育時のサーキットトレーニングも継続し、体幹の強化を図り、良い姿勢での授業をめざしました。まだまだ定着には時間がかかるので、工夫や改善を検討しながら、継続しています。

○ふるさと教育や朝来ドリームアップ事業での体験活動を継続し、子どもたちが体験を通じた経験を積み上げています。体力向上と豊かな表現力を身につけ





るために「ダンス教室」を実施し、今年も運動会で披露します。
 ○生活面では、代表委員会を中心にした児童会活動や委員会活動等を通しての子どもたちの主体性も育てるようにしています。この活動については、以前の学校だよりでお伝えしました。
 ○このように児童達は、多くのことを学び、体験した1学期でした。



期末懇談会へのご出席ありがとうございました

○7月11日・12日・13日に行いました期末懇談会にお忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。困ったときは、いつでもご相談ください。



通知票の見方について



【学習の様子】

- ・通知票には、学習の状況进行评估する「観点」の欄があります。そして、「めあて」の欄には身につけさせたい力を具体的に文章で表記してあります。この「観点」と「めあて」が以前から新しくなりました。「評価」は、「◎」「○」「△」で表記します。どれだけ学習目標に到達しているかで判断します。判断は、テストだけでなく、課題の状況や意欲、プリントやノート等々多くの資料で評価します。
- ・各教科の「評定」は3年生以上で評定します。(1・2年生は評定はありません)「評定」は通知票に記載された観点項目を総合的に評価します。「3」「2」「1」で表記します。
- ・「外国語科」の評価・評定は5・6年のみです。3・4年は「外国語活動」となりますので、文章の表記となります。
- ・「特別の教科 道徳」は、道徳の授業の評価を文章で表記します。
- ・「総合的な学習の時間」は、どんな活動をして、どのような力がつき、どのような力を発揮したか特に顕著であったことを文章表記します。(3年生以上ですので、1・2年生はありません)

【生活の様子】

- ・各教科、道徳、特別活動、学校での生活など教育活動全般にわたっての児童の行動の様子をもとに評価します。「○」はよくできた、「△」は努力がいます。「○」がつくということは、1学期とてもよくできたということです。学習の評価も大切ですが、生活の評価も同じくらい大切です。

【特別活動の記録】

- ・学級活動、学校行事の活動の様子で、具体的にがんばれたことで特に顕著な面を記入します。
- ・委員会活動は5・6年のみです。(委員会名を記入する)
- ・クラブ活動は、4・5・6年のみです。(クラブ名を記入します)



【所見】

- ・児童一人一人の学習や生活状況(各教科、特別活動、行動、児童の特徴や特技、児童の成長に関わること)をとおして、総合的に文章で表記します。

【出欠の記録】

- ・1学期の7月の出欠は、空欄とします。(2学期に記入します)



通知票は、学習や学校生活の様子を保護者の方にお知らせすることによって、お子様の望ましい成長に役立てていただくために、一人一人の学習や行動の様子をしっかりと見つめ、その子のよさや可能性をよりよく伸ばしたいと願いつつ作成しています。この趣旨をご理解の上、通知票を通してお子様の頑張りや長所を認め、励ましの言葉をかけていただき、本人の意欲向上につなげていただくことを願っています。

